

徳之島町立母間小学校 ～池間棒踊りの伝承活動～



大正時代、下久志の青年たちが仕事の関係で奄美大島の龍郷町屋入鉦山で働いていた時、その鉦山で同じく鹿見島から来ていた鉦山師が祝いの席などで勇ましい棒踊りを披露した。下久志の青年たちは、その魅力に惹かれ、棒踊りを習得し帰島した際に、様々な行事で棒踊りを踊った。池間の青年たちも、その踊りに惹かれ、棒踊りを習得し、「池間棒踊り」を完成させた。

学校では、平成14年の創立100周年記念式典で披露したのを機に毎年運動会で児童とプログラムに位置付けて踊っている。「池間棒踊り」を総合的な学習の時間で学習する際は、「池間棒踊り保存会」の方がゲストティーチャーとして踊りの形を指導したり歌を歌ったりしながら練習に関わってくださっている。本番の秋季大運動会では、一緒に参加して太鼓や歌、かけ声を担当してくださっている。また、「池間棒踊り」の発表の機会を増やそうと、平成29年から地域の敬老会では、子ども育成会の保護者が中心となって児童の「池間棒踊り」を披露している。